

MONTHLY MAGAZINE OF SHOP DESIGN & INTERIOR DESIGN

3

商店建築

SHOTENKENGHIKU 2010 March Vol.55 No.3
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 株式会社射天景ビルディング 03-5561-5994

FEATURE ARTICLE

ホテル

SPECIAL FEATURE 1

アジアの
最新ショップデザイン

SPECIAL FEATURE 2

商業ビル開発

SPECIAL REPORT

プロダクトデザイン





上/外観。奥の高層棟が客室
下/エントランスホール。周囲
に水盤を設置することで、
水上のガラスボックスを表現
右頁/客室38階~49階吹き
抜け。壁面アートは、澤田広
俊氏による作品「Rize」

香港発のスマール・ラグジュアリーホテル

ザ・アッパーハウス

Pacific Place 88 Queensway, Hong Kong

Hotel THE UPPER HOUSE, Hong Kong
Designer Andre Fu

設計 / AFSO Andre Fu
施工 / Legend Contracting
撮影 / 梶原敏英



取材ノート

ホテルが建つパシフィック・プレイスは、香港屈指の商業施設で、既に「コンラッド」「アイランド・シャングリ・ラ」「JWマリオット」の3ホテルが隣立している。「ザ・アッパーハウス」は、フロア内で接続はないものの、「JWマリオット・ホテル香港」と同じビル内の上階にオープンした。以前はサービスアパートメントとして機能

していた部分を全面改装してオープンしたホテルである。

設計は、「シャングリ・ラ ホテル 東京」(09年5月号)の料飲施設を手掛けたAndre Fu氏。オーナーであるスワイヤー・プロパティエー社から提示されたホテルのコンセプトは、「Calm (穏やか)」「Comfort (快適)」。それに対してFu氏が回答したデザイン・コンセプトは、「A Poetic Upward Journey (上へと続く詩的な旅)」。ホ

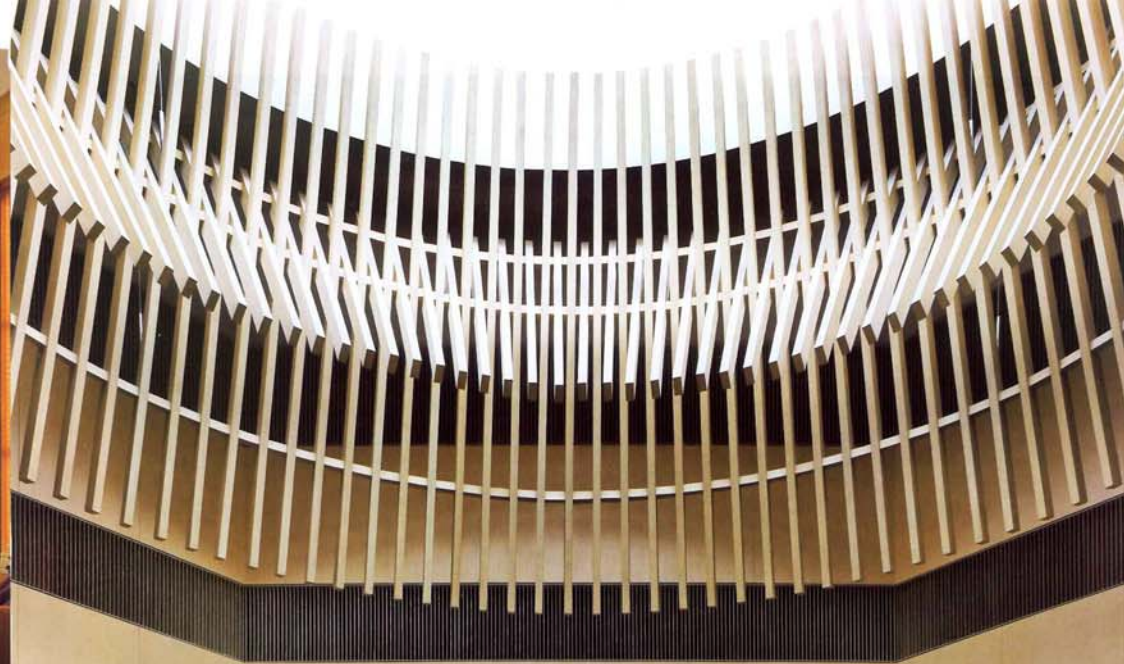
テルでの宿泊が、外観から始まり、ロビーフロア、38階から見上げる吹き抜け、客室、スカイラウンジなどを通り、レストラン&バー「Café Gray Deluxe」へと辿り着く「旅」を意味するというもの。館内には、350のアートピースが設置されており、至る所に宿泊者の感性に訴える仕掛けが用意されている。6階の屋外エリアには芝生を設置。Fu氏は、「あまり大きなスペースではありませんが、人口密度の高い香港において、くつろぎ感を

与える貴重な設えです。また、芝生へのアプローチは主動線から外れており、「旅」の構成要素の一つである「冒険」を演出しています」と話す。客室は、「Asian Influence (アジア的影響)」をコンセプトに、竹材を使用したFFEを中心に構成されている。また、くつろぎを表現する場所として、すべての部屋に2面の開口部を持つドライバスを設置。テレビモニターをミラー内に隠すなど、快適性とデザイン性を兼ね備えた空

間に仕上がっている。発展目覚ましい香港において、都市の顔となるホテルが新たに登場した。運営を手掛けるスワイヤー・ホテルズは、1月25日にも、香港・太古にライフスタイル・ビジネスホテル「イースト」を開業。今年中に中国・広州に「ザ・オボジットハウス」(09年3月号)「ザ・アッパーハウス」に続く新たなスモール・ラグジュアリーホテルを開業予定だという。

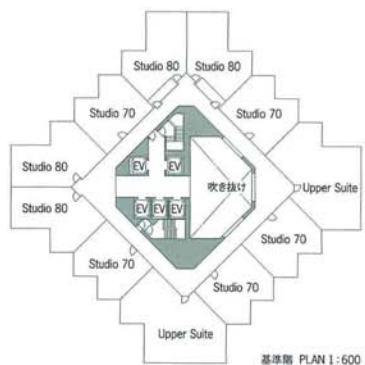
(文責編集部)

左上/スタンダードタイプの客室「Studio 70」。FFEの多くに竹が使用されている
右上/「最もゆったり出来る場所」をテーマにデザインされた「Studio 80」浴室。肩まで浸かることができるバスタブからは、香港の街並みを楽しむことができる
右中左/さまざまなサービスを提供するiPodのクレードルと一体化したデスクの引出し
右中右/電源を点けた時のみ現れるミラー内のテレビモニター。右下/バゲージラックが設置された客室前通路。客室サインは内照式で、鍵は非接触式カードを採用



上/49階スカイラウンジ。改装前の50階部分を吹き抜けにすることで、天井高を確保。中央はマントルピース 下左/ソファ席。手前のテーブルは竹集成材 下右/書棚を飾る本も、すべてAndre Fu氏によるセクション 右頁/吹き抜け上に設置された49階スカイブリッジからレストラン&バー「Café Gray Deluxe」のレセプションを見る





上/2面の開口部を持つ個室席。照明のシェードにも、金色に塗装された曲い竹を使用している。上/メインダイニング。開口部からはビクトリア・ハーバーの夜景を一望することができる。下/個室からオープンキッチンを見る

【ザ・アッパーハウス】データ

工事種別○内外装 全面改装
床面積○基準階1000㎡
工期○2007年夏期～2009年10月

営業内容

開業○2009年10月2日
チェックイン/アウト○午後2時/正午
電話○+852-2918-1838
経営者○スワイヤー・ホテルズ
客室数○117室(うちスイート21室、ペントハウススイー

ト2室)

主な客室料金○Studio 70 (68㎡) 2888HKD～ Studio 80 (78㎡) 3888HKD～ Upper Suite (114㎡) 4888HKD～
※ 1HKD (香港ドル) = 約12円 (※ 10年1月現在)
主な付帯施設○レストラン&バー「Café Gray Deluxe」ジム

主な仕上げ材料

外壁○石貼り(ベドニア)
床○ウール+シルク製カーペット敷き アッシュ材フローリング貼り オーク材フローリング貼り 浴室/ライムストーン貼り(ペルラートスベロ)

壁○クロス貼り 竹集成材貼り 浴室/ライムストーン貼り(テールドリエンテ)
天井○クロス貼り
家具○竹集成材 客室前通路/バゲージラック・大理石
竹器○スカイラウンジ/マントルピース・ライムストーン
照明器具○銅製フレーム Café Gray Deluxe/竹貼りの上
金色塗装